

を切望してやまない。

又考へ様に依つては斯る制度の採用に依つて當然増大するであらう海外モーターリストとの接觸は我國の觀光事業促進と云ふ見地からしても又道路の改良擴張、自動車工業の刺戟、又他方自動車國防の充實、產業の開發と云ふ切實な問題の解決に對しても必ずや好影響を齎すものなる事を信じて疑はないのである。是はトリップチック制度、通關手帳制度に對しても同様であり殊に道路標識制度等に對しては尙更緊要なる事と考へられるのである。

國際自動車問題として我々が考慮しなければならない問題は以上の三點をもつて盡くるものではない。
自動車競争への參加、外國自動車課稅制度に關する條約、自動車製造技術者の國際的協調、國家公認の自動車クラブ設立、並みに國際的連絡、道路技術者のより一層の團結、等々頗る廣範圍に亘る。
是等の諸問題は此處に保留して隈部氏の力説された要旨三點に就いて所見を述べた。
幸ひに關係各方面も隈部博士の御意見に對しては非常な賛意を示されて居る由、此の好機を逸する事なく徹底的に善處されん事を望んで已まぬ。(一九三六年五月十三日)

高知縣道路愛護協會の發會

岸 田 正 一

近年に至る迄鐵道の施設に取り残されて居た本縣は、自然道路の普及について力を注ぎ、保全改良にも相當見るべきものがあり、外來客は口を揃へて激賞するし、縣民とし

ても一つの誇りとして居たのであるが、輓近自動車の交通頓に繁劇を加へ、路面の損傷甚しきものあり、之が修理改善には夥しい経費を要しつゝある現状にある。

然るに本縣は全國稀に見る雨量の多い地方であつて、年々歲々大小の水禍に見舞はれざるなしといふ有様で、災害縣としても多く比を見ない所である。加ふるに累年經濟界不況の餘波を受け、民力の疲弊、縣財政の窮乏は實に甚しく、復舊費については縣民負擔力の衰退により巨額の債務を背負ふて復興途上に喘いで居る現状である。

當局に於ては深く縣下の情勢を察し、將來を慮る所あり昭和十年四月、知事は道路愛護治水施設保全に關して告諭を發し、同時に獎勵規程を制定して普く縣民の協力を懇へる所があつたが、幸にして一般の自覺頓に顯著なるものあり、各町村競ふて道路愛護會を創設し、現在既に八十餘ヶ團體の發會を見、尙ほ續々風を望んで起つ情勢にあるが、當局としては縣下各町村残らず設立せしめる方針で普及運動を續けて居る。

仍つて之が連絡統制の必要を認め、去る五月十六日を以て高知縣廳に於て高知縣道路愛護協會の發會式を舉行した次第である。當日の列席者は正會員（市町村道路愛護會）

入會申込みをした者 六十三名、贊助會員十五名、來賓として内務省神戸土木出張所長山内喜之助、浦戸港修築事務所長萩野輝、豫備陸軍中將坂本政右衛門、縣會議長井上熊兄外縣會議員五名、高知市長外町村長六十九名、交通協會代表、縣自動車協會代表等無慮二百名の多數を算した。

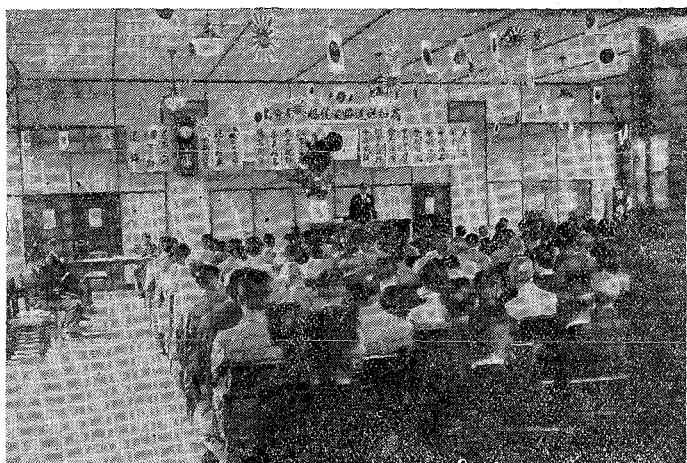
先づ發起者として土木課長開會の挨拶を述べ、馬淵須崎町長を座長に推し、會則を附議した後、座長指名で會長に渡邊經濟部長を、副會長に岸田土木課長、久保田鴨田村長の諸氏を推薦、會長の挨拶並に式辭、泊知事の告辭、來賓井上縣會議長、橋本縣自動車協會長、野村交通協會長、淺井縣政記者代表等の祝辭があつて、會長より委員を指名、次いで本年度豫算を附議、委員會に附託、委員長報告通り原案を承認、山内神戸土木出張所長並に坂本陸軍中將の道路上に關する極めて適切有益なる講演があり感銘を與へ、道路改良會長水野鍊太郎氏、野村貴族院議員その他の祝電を披露し、更に會長より總裁に泊知事を、顧問に野村貴族院議員、坂本中將、山内神戸土木出張所長の諸氏を推薦し、

坂本中將の發聲で高知縣道路愛護協會萬歳を三唱し、副會長の挨拶があつて、此の種の催として未會有の盛況裡に閉會したが、一同は夫より葉若薰る高知公園三ノ丸に於ける發會式祝賀宴會に臨んだ次第であつた。

因に、坂本中將講演の要旨は左の通り。

坂本中將講演

私が唯今御紹介に預つた坂本であります。道路愛護會發會式の御案内を受けて、席上何か話をせよとの御註文でありましたが何んだかお門違ひの様に思はぬでもありませんでした。實は愛護會の出來て居ることを一昨日御案内によつて始めて承知した位のものであります。



高知縣道路愛護協會發會式の景光

(演講の長所張出木土戸山内)

道路に縁の無い者ではなく、満洲熱河の方面にも參つて居つた事がありますが、此の頃は最も多く道路といふものは苦勞したのであります。滿洲地方は彼の事變當時に於きましては、道路らしい道路といふものは殆ど無

く、軍隊を動かすについて道路の検索に一番骨が折れた次第であります。

御承知の通り、滿洲は匪賊の多い所であります。事變直後にては五十萬と云はれて居たのであります。段々掃蕩されまして、素より精確なことは判りませんが、只今では四、五萬の少數になつて居るのであ

ります。所が此の匪賊は何ういふ所に居るかと申しますと、申合せた様に道路のない最も不便な所に巣を喰つて居り、機會を狙つては襲來するといふ厄介な奴であります。

道路さへ普及して居れば、敏速に討伐掃滅が出来るのであります。道路の無い爲に彼等の跳梁する餘地があるのであります。近頃彼地から歸つた知人の話によりますと、満洲國の庶政は躍進的に發達を見つゝあつて、道路もドンドン開通し、殊に熱河方面などで、先輩達が非常に道路に苦勞したと言ふが何處で何故苦痛を嘗めたのか其の理由を發見するに苦む程であると云ふのであります。私もそんなに便利に開けて居るかと今更の如く數年前の當時の事を回想して、ツクゞ道路の大切さを痛感した次第であります。

翻つて考へまするに、若し内地に匪賊が居るとすれば、土佐などは最も多くの匪賊の居りさうに思はれる所であります。此の席にも段々お見えになつて居るであらうと思ふが、殊に幡多郡や嶺北地方などは餘程開化に遅れて居た。今日でこそ大分便利になつて居ることを久しう振りに歸縣し

て承知したのであるが、昔、私共の少年時代は「本山の搗臼」など、申して、大きな材木の一切れが一錢か一錢五厘（と諧謔を交へて聽衆を朗笑させ）といふお話にならないものであつた。其の後次第に文化が普及し、道路は出来るし、最近鐵道まで開通して、搗臼どころか木材以外の產物もドンドン値打が昂り、自由自在に遠方へ搬出され、本山が櫻の名所になつて遊覽客を呼ぶといふ眞合であります。

道路の恩恵といふものは斯様に有難いものであります。

本縣は鐵道の施設に取り残されて居た爲でもあります。が、道路には隨分力を入れ、割合によく發達普及しまして保全も行き届き、縣外人が來るとよく土佐の道路は立派だと賞めるし、實は縣民も一つの自慢にして居たのであります。所が、近來は何うでありますか。

道路は人體に於ける動脈血管の様なものであります。之が段々硬化すると、半身不隨といふやうな結果になる。先刻淺井さん（縣會副議長、土陽新聞縣政記者）の云はれたお話によると、全國一といふ程に誇つた道路が自動車な

どの利用高度化によつてひどく損傷し、莫大な保全修理費を要し、とても財政難の今日公費だけでは十分な手が届かず路面の悪いこと現在全國で餘程の下位(?)にあるといふ。之は大分不養生をして動脈硬化の状態に近いのではないかと思はれる。事實とすれば洵に遺憾なことである。全國で道路の悪い所は千葉縣などが第一と見られて居るのであるが、一度雨が降ると、所謂泥濘膝を没すると云ふ有様で、歩けたものではない。九州熊本地方の道路も隨分良くない方で、道路がズット凹んで居る。之は加藤清正が兵學の見地から故意と斯様にした様に説いて居る者もあるが、奉強附會に過ぎず實は此の地方の土質は火山灰の堆積したものであるから、斯ういふ風に減り込んだのである。道路を一見すれば其の地方文化の程度が判ると云はれる位に重要なものでありまして、之は是非共お互に保護しなくてはならないのである。愛護會の出來たのは頗る結構なことで殊に「愛」といふ字が私の氣に入つたのであります。

吾々人間は一步門を出ると道路の厄介にならなくてはならない。して見れば道路は我家の廊下や庭の延長であると考へることも出来る。之をお互に「愛」の心を以て手入れする事は當然であつて、昔はよく「道普請」といふものに地方々々で働いたのである。近年でもやつて居る所が多いのであらうが、此の心掛けを推し擴めて縣道と云はず國道と言はずやつて行きたいものである。

私は現役を退いて歸郷し、市内小高坂に老後の居を定めたのでありますが、自ら庭の掃除もするし、いさゝか乍ら畑を拵へて野菜や花卉なども作つて居る。處が、朝起きて顔を洗ふと、一番に野菜畑を見に行くのが例である。すると野菜は快く迎へて「お早う」と挨拶する如くである。之に對して水をやり肥料をやる、何んだか非情の草木ではなくて、自分と同じ心を有つて居るもの、様に思はれてならぬ。段々親みが出來て、私も此の頃漸く「愛」といふもの、本質が判りかけて來たやうに思ふのであります。

「愛」の心を以て物事に接すれば、道路の凹んだり缺けたりして居る所を見ても、之は可哀想だ、何んとかしてやらね

ばならぬと黙つて通り過ぎる譯に行かなくなる。取敢えず
鉄を持ち出して應急の修理をやるのであらう。皆な此の氣
持になれば道路は自然に美しく保全される譯であります。

特に私の希望する所は地方町村の青年達に自治公共の精
神を十分吹き込んで頂きたいと思ふ。道路愛護によつて物
質的公共の利益を擧げることは申す迄もないのであるが私
は夫れよりも精神的効果をヨリ以上に重要視して擴充を
計りたいと念願するのであります。一事が萬事である道路
愛の精神が有ゆる物に推し擴めらるゝならば何事をしても
我事でありお互の爲であるといふ事になる。部落が良くな
れば町村が良くなる。町村が良くなれば縣が良くなるし、
大にしては國家が良くなるといふ道理であつて、帝國の國
運は更に伸張興隆すべきは疑ふ餘地がないのであります。

非常時などいふ事は、一ペソに消し飛んで了ふであらうと思ふ。

私は最後に一例を引いて、諸君の御参考に供したいと思
ふ、それは私の居た六師團管下に於ける鹿兒島縣海濱の一

寒村が、公共自治の精神を實行に移すことに依つて、僅々
十年に足るか足らずで模範部落となつて居る事實であります。
此の部落はとても甚しい貧弱部落であつたが、部落内

に一人の先覺者が居て、沒分曉漢の批評なんかに耳を籍さ
ず、自力で以て一つの事功を擧げたので、皆が此の至誠に
打たれ、眞似をするやうになり、此の指導精神は不言不語
の間に忽ち全部落に擴充され、何事も部落の會合でサラサ
ラと一決して立派に大工事をやり遂げたのであります。之
はホンの一例に過ぎないが、教へらるゝ所が多いと思ふ。

繰返して、私は本日お集りの諸君に希望したいのは、今
後の國家を擔ぐ所の青年達に對して「愛」を基調とする公
共自治の精神をウンと吹き込まれて、其の徹底を期せられ
たいといふ事であります。

甚だ取り止めのない話を申上げて恐縮であります、以
上を以て本日演壇に立つた責を塞ぐ次第であります。御靜
聽を感謝します。(完)